

スーパーカムチェーンテンショナー 取扱説明書

製品番号 01-14-0013



Here is english manual.

Can be view the pdf data of instruction English manual by scanning the TWO-DIMENSIONAL CODE.

適応車種	GROM	(JC92-1000001 ~)
	MSX GROM タイモデル	(MLHJC92)
	CT125	(JA65-1000001 ~)
	クロスカブ 110	(JA60-1000001 ~)
	スーパーカブ 110	(JA59-1000001 ~)
	スーパーカブ 110 タイモデル	(MLHJA56)
	スーパーカブ 110 プロ	(JA61-1000001 ~)
	スーパーカブ C125	(JA58-1000001 ~)
		(JA71-1000001 ~)
	ダックス 125	(JB04-1000001 ~)
		(JB06-1000001 ~)
	モンキー 125	(JB03-1000001 ~)
		(JB05-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル	(MLHJB03)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。

予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎当製品の取り付けには、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。
- ◎当製品の取り付けには、特殊工具が必要となります。別途ご用意下さい。
フライホイールホルダ :07725-0040001 (ホンダ純正品) 又は、ローターホルダー :00-01-1001 (武川製品)
フライホイールプーラ 30mm:07KMC-HE00100 (ホンダ純正品) 又は、フライホイールプーラー :00-01-1671 (武川製品)
- ◎取り付けには別途 L クランクケースカバーガスケットが必要となります。
ホンダ純正品番 :11395-K1M-T02 武川品番 :00-02-0498
- ◎当製品と他メーカーで販売されている、強化プッシュロッドヘッドを同時装着するとカムチェーンへの負荷が大きくエンジンを破損させる原因となるので使用しないで下さい。必ず適度なダンパー効果のある純正及び弊社製カムチェーンテンショナープッシュロッドヘッドをご使用下さい。
ホンダ純正品番 :14566-086-030 武川品番 :00-01-0279
- ◎日本国内モデル以外の並行輸入モデルは予期なく変更されている場合があります。弊社が全て把握しているとは限りません。予めご了承下さい。
- ◎カムチェーンテンショナーローラーやプッシュヘッドは定期点検を推奨致します。エンジンの仕様等でも異なりますが約 10000km 程度で一度点検する事をお勧め致します。

～特 徴～

- 超タジュラルミン材を削り出し硬質アルマイトで仕上げた強度の高いカムチェーンテンショナーです。
- テンショナーアームをノーマルよりも厚く設計している為、アーム自体を強化させているのと共にプッシュロッドヘッドとの接触面を増やし、プッシュロッドの寿命を大幅にアップさせています。又、プッシュロッドヘッドの変形を減少させる為、プッシュロッドから受ける力が損なわれる事を防いでいます。
- テンショナーアーム本体にオイル穴を設けており、稼働部へオイルの潤滑を行い、稼働部の耐摩耗にも考慮しております。
- カムチェーンテンショナーローラーが付属。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。（トラブルの原因となります。）

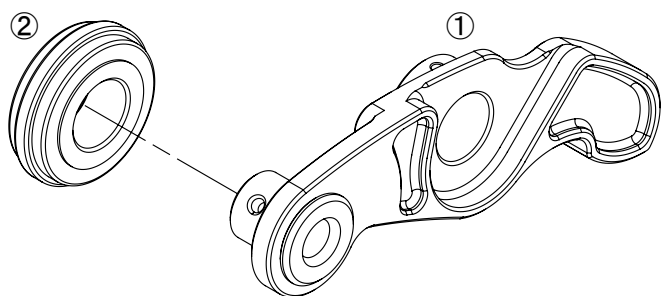
警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	アーム COMP.	1	—
2	カムチェーンテンショナーローラー	1	00-01-0482

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。
使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

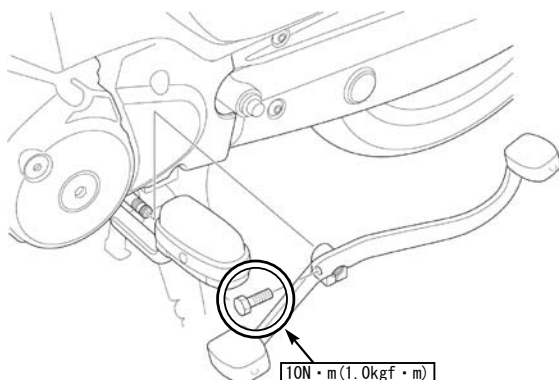
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- 車両を安定させた状態で作業を行います。
- エンジンオイルを排出します。

■L. クランクケースカバーからコネクタ接続を外す

□スーパーカブ 110(プロを含む)、クロスカブ 110、スーパーカブ C125、DAX125、CT125 の場合

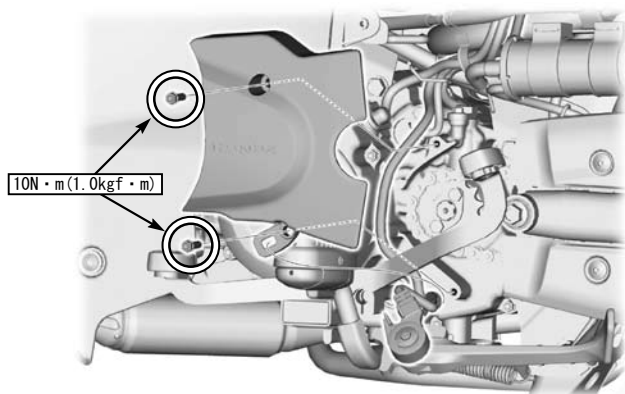
- 接続を外す為、純正サービスマニュアルを参照し、ボディー左側の外装類を取り外します。ギアシフトペダルを取り外します。



図はスーパーカブ C125

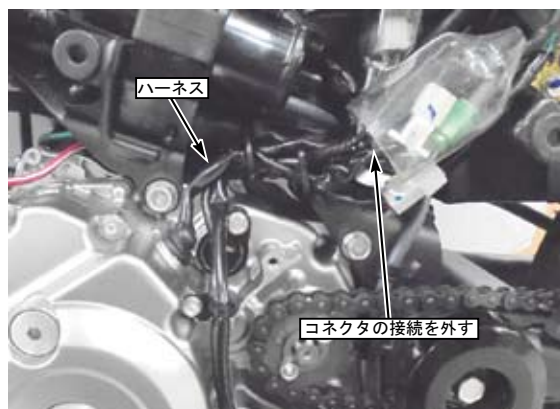
- ドライブスプロケットカバーを固定している 2 本のボルトを取り外し、ドライブスプロケットカバーを取り外します。

※スーパーカブ C125、CT125 はスタンドスイッチのクリップをカバーから外します。



図はスーパーカブ C125

- L. クランクケースカバーから出ているコネクタの接続を外します。クランプからハーネスを外します。



- オイル受けを準備しボルトを対角に数回に分けて緩めて取り外し、L. クランクケースカバーを取り外します。

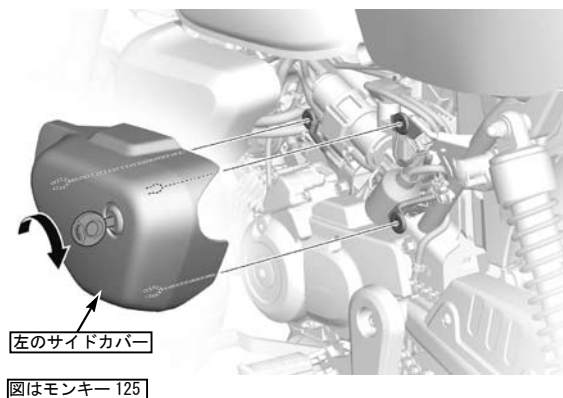
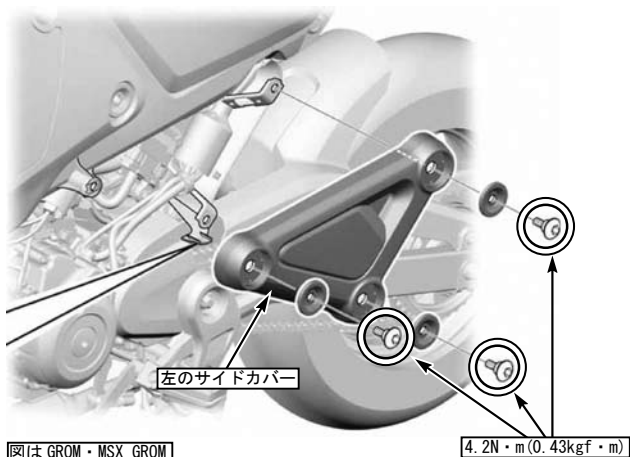
※磁力によってL. クランクケースカバーを引っ張り込む力が作用しているので指を挟まない様に注意し行います。



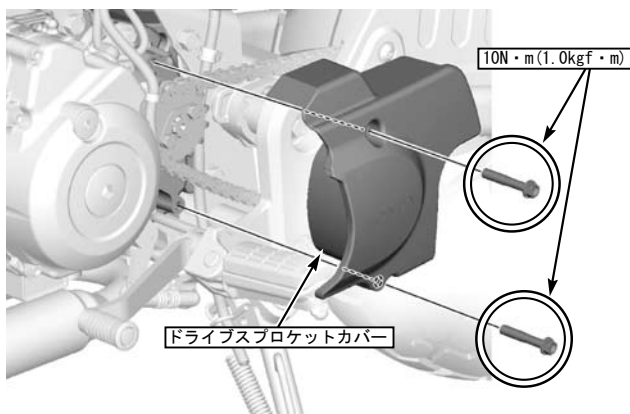
■ L. クランクケースカバーからコネクタ接続を外す

□ モンキー 125、GROM、MSX GROM の場合

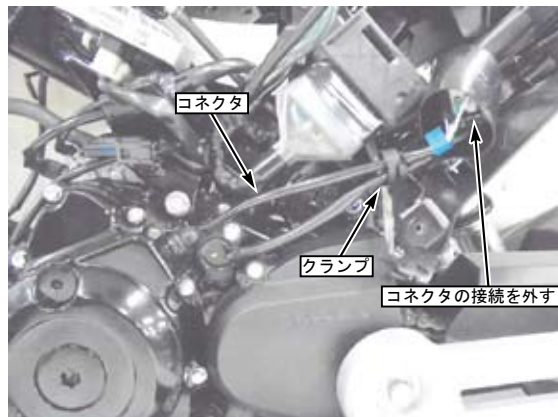
○接続を外す為、純正サービスマニュアルを参照し、左側サイドカバーを取り外します。



○モンキー 125 は、ドライブスプロケットカバーを固定しているボルトを外しカバーを取り外します。

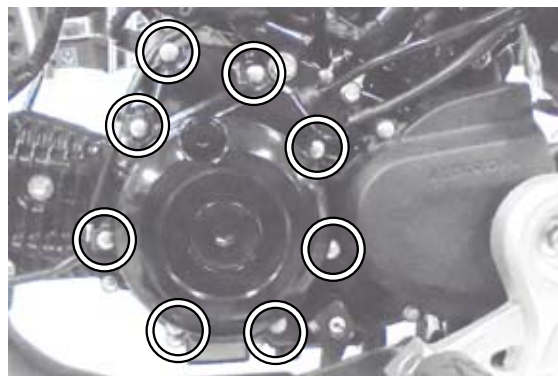


○ GROM・MSX GROM は、ワイヤーハーネスを束ねているクランプを外します。
L. クランクケースカバーから出ているコネクタの接続を外します。



○オイル受けを準備しボルトを対角に数回に分けて緩めて取り外し、
L. クランクケースカバーを取り外します。

※磁力によって L. クランクケースカバーを引っ張り込む力が作用しているの指を挟まない様に注意する事。

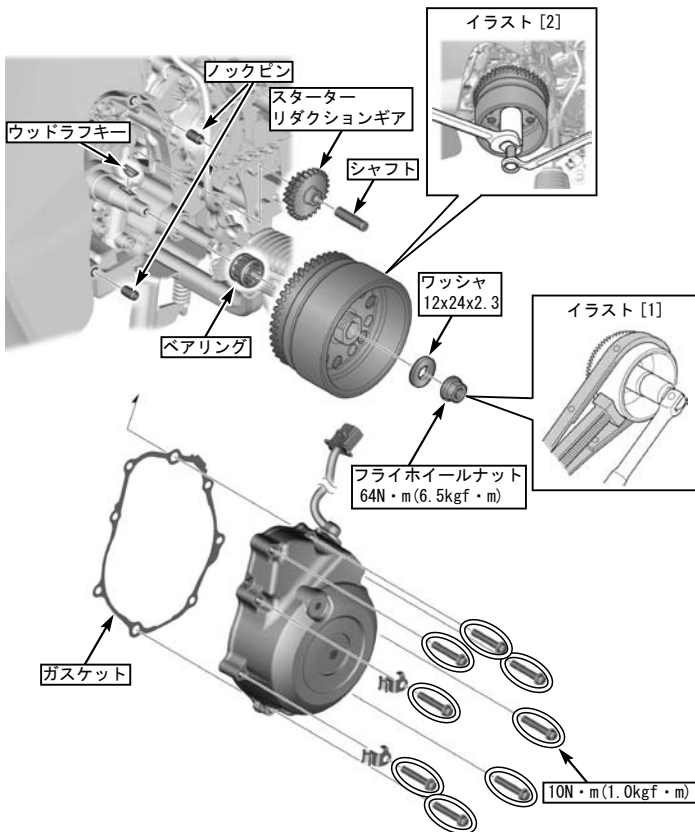


全てのモデル共通作業

○ノックピン2本を外し、スターターリダクションギアとシャフトを取り外し、クランクケースやL. クランクケースカバーの取り付け面に残ったガスケットをきれいに取り除きます。

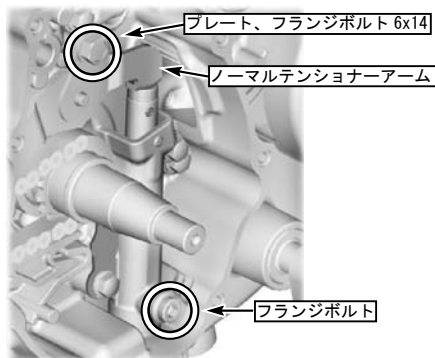
○イラスト [1] の様に専用工具：ローターホルダーを使用し、イラストを参考にフライホイールを固定し、フライホイールナットとワッシャ 12x24x2.3 を取り外します。

○イラスト [2] の様にフライホイールに専用工具：フライホイールプーラーを使用し、フライホイールを取り外します。ウッドラフキー、スタータードリブンギア、ベアリングも取り外します。



○図の箇所のフランジボルトを外し、リフターボディ内のオイルを抜き、圧がかからない様にし、テンショナーアームを固定しているプレートとフランジボルト 6x14 を外します。

○ノーマルのテンショナーアームとカムチェーンテンショナーローラーを外します。



○テンショナーのプッシュヘッドの状態を確認し、変形、摩耗、損傷がある場合は新品に交換します。

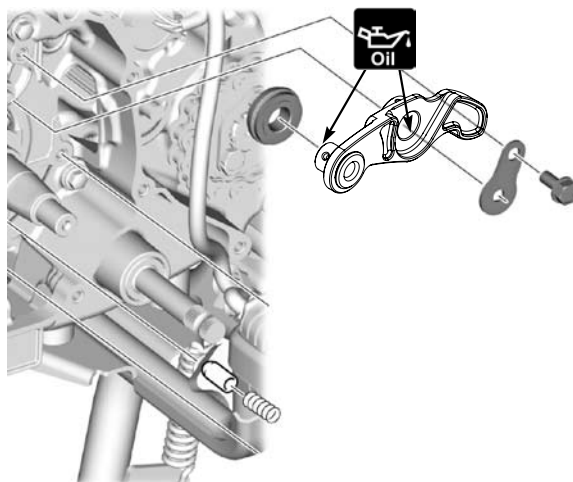


○イラストの OIL 指定箇所にオイルを塗布し、①アーム COMP. に②カムチェーンテンショナーローラーを取り付けます。セットした状態でカムチェーンテンショナーロッド COMP. を指で押さえた状態でL. クランクケースに取り付け、ノーマルと同様にプレートにフランジボルト 6x14 を使用し固定します。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

フランジボルト

トルク：12N・m (1.2kgf・m)

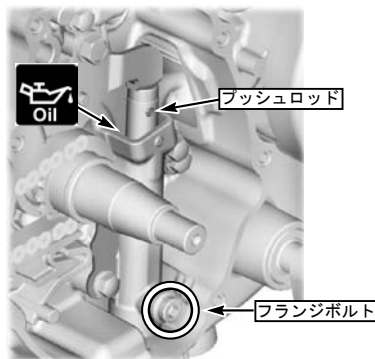


○図の箇所のフランジボルトを規定トルクで締め付け、カムチェーンテンショナリフタチャンバに 4.0cm³ エンジンオイルを注入します。プッシュロッドが動かないまで押し込んで、空気を抜きます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

フランジボルト

トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○各車種のサービスマニュアルを参照し、エンジンが始動出来る様に
L. クランクケースカバーとコネクタ接続まで各部逆手順にて組戻します。
(L. サイドカバー又はボディカバー左側はこの時点では組み戻さない。)
※ニードルベアリング、スターターダクションギア、シャフトにオイルを
塗布します。
※L. クランクケースガスケット、摩耗や損傷がある部品は新品に交換
します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

フライホイールナット 12mm (ネジ部、座面にエンジンオイルを塗布)
トルク：64N・m (6.53kgf・m)

L. クランクケースカバーフランジボルト (必ず対角に数回に分けて締める)
トルク：10N・m (1.02kgf・m)

スプロケットカバーフランジボルト / シフトチェンジペダル固定ボルト
トルク：10N・m (1.02kgf・m)

オイルドレンボルト 12mm
トルク：24N・m (2.45kgf・m)

○規定量のエンジンオイルを注入します。

	モンキー 125 スーパーカブ G125 GROM	スーパーカブ 110 クロスカブ 110 スーパーカブ 110 PRO DAX125 GT125
オイル交換時	0.9ℓ	0.8ℓ
オイルフィルター交換時	0.9ℓ	0.85ℓ
エンジン分解時	1.05ℓ	1.0ℓ

○各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認します。
○風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し、各部に
オイル漏れや、エンジンからの異音が無い事を確認します。
エンジンを止め、約1分後オイルレベルゲージ又はオイル点検窓にて
基準範囲内である事を確認します。ネジやナット等の緩みが無いか再度
点検します。

⚠ 警告：エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。
密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

○取り外した外装類を逆手順で組み戻します。

